

1年1組 道徳だより

主題名 きまりを守って使う 内容項目 規則の尊重
教材名 「みんなの ボール」P.78～79
ねらい みんなで使うものを大切に扱おうとする心情を育てる。

①教材について

お昼休みの時間、学級のボールがなくなっていることに気づく。校庭に忘れてきたことが分かるが、それぞれが「知らない。」とか「ぼくだけじゃない。」と言って、大騒ぎになり、みんなで捜しに行くという内容である。公共物や公共の施設の使い方について、基本的なことを具体的に理解していく中で、どのような心構えが大切かを考えさせる教材である。

②授業の様子

○「くにおさんが・・・」と言われて、くにおさんはどんなことを思ったでしょうか。

(子どもの意見)

- ・ みんなで使っていたのに、自分だけのせいにされている。
- ・ 僕だけを責めるのはひどい。

○「ぼくも、わたしも」と校庭に飛び出していったみんなの気持ちを書きましょう。

(子どもの意見)

- ・ みんなのものだからさがしに行こう。
- ・ ボールがないと遊べなくなってしまう。急がないと風で飛ばされてしまうかも。
- ・ ボール係のしげるさんが心配だから、さがしに行く。

③振り返り

○みんなが使うものを気持ちよく使うためにはどんなことに気を付けたらよいのでしょうか。

(子どもの意見)

- ・ 使ったら元の場所に戻す。みんなで片付けをする。
- ・ なかよく一緒に使うようにする。譲り合う。
- ・ ものを大切にする。きれいに使う。
- ・ 時間を守って使う。

④担任より

登場人物であるボール係の「しげるさん」、ボールを最後まで使っていたと責められる「くにおさん」やその他の「みんな」の気持ちを考えたときに、それぞれの立場の人物を心配する発言が多く、学級の児童の優しさを感じました。

また、自分たちの生活に置き換えて考える振り返りでは、本やボール、遊具など様々な公共のものを思い浮かべてから、気を付けることを話し合いました。片付け方やものの使い方だけでなく、「時間を守る」「なかよく譲り合う」などの発言があり、驚きました。みんなが気持ちよくものを使うためには、どれも大切なことだと思います。今回、あらためて確認した「きまりを守って使う」ことについて、今後の生活に役立てていきたいと思っています。